

道又蒼彩は、社会構造の中で個人が直面する位置と選択を主題に、木版画による制作を続けている。社会運動家・作家の生田武志氏が提唱した「カフカの階段」の概念（階段を下りることは容易だが、上ることは困難である）を参照しながら、上ること、下りること、とどまることの困難、そして選択した先での安堵と不安を描いてきた。

版を重ねながら掘り進める制作過程において版本は変化し、完成後に同じイメージを刷ることはできない。この不可逆性は主題と呼応している。作品に描かれる人物たちは劇的な物語を語らず、穏やかな視覚言語の中で、見る人それぞれの物語を紡ぐ余白を開いている。



path of innocence -1, 2025



path of innocence-2, 2025

アーティスト・ステートメント

社会構造は私たちに位置を与え、選択を迫る。上を目指すこと、とどまること、あるいは別の道へ進むこと。その選択の重さと、選択した先に何があるのかを見つめることが、道又蒼彩の制作の核にある。

「カフカの階段」は、社会運動家・作家の生田武志氏が提唱した概念である。階段を一段一段下りていくこと（失業し、住所を失い、路上生活に至ること）は容易だが、そこから元の生活に戻ろうとする階段は、壁のように高くそびえ立つ。道又はこの概念を参照しながら、絵本のような穏やかな画面の中に、階段を上ること、下りること、そしてとどまることの困難を描いてきた。

しかし問いは「上れない階段」だけにとどまらない。上れという社会的圧力から離れ、どこかに属することで得られる安堵がある。その安堵は確かに必要なものだが、同時にそこにとどまり続けることへの不安と表裏一体でもある。分岐点に立つこと、選択すること、そして選択した先での帰属と停滞。アーティストの関心はこうした問いへと展開してきた。

制作において、道又は版を重ねながら掘り進めていく。版本は刷りを重ねるごとに変化し、エディション番号は与えられているものの、完成後に同じイメージを刷ることはできない。一度進んだら戻れない。この不可逆性は、階段を下りること、選択すること、という主題と無関係ではない。

作品に描かれる人物たちは、劇的な物語を語らない。穏やかな視覚言語の中で、彼らはただそこにいる。その静けさが、見る人それぞれの物語を紡ぐ余白となることを、道又は意図している。

経歴

道又蒼彩（2000年北海道生まれ）は、木版画を通じて社会構造の中での位置と選択を問い続けている。版を重ねながら掘り進める制作過程において版木は変化し、エディション番号が付与されながらも、完成後に同じイメージを刷ることはできない。複製技術でありながら不可逆的に生成される作品は、一人一人の経験が異なるように、それぞれが固有の存在として立ち現れる。

2025年武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻版画コース修了。主な個展に「relief」（札幌芸術の森美術館、2025年）、「community of」（aaploit、2025年）。作品はアーツ前橋に収蔵されている。

CV

学歴

- 2023 武蔵野美術大学 造形学部 油絵学科 版画専攻 卒業
- 2025 武蔵野美術大学大学院 造形研究科 修士課程 美術専攻版画コース 修了

個展

- 2025 『relief』, 札幌芸術の森美術館, 北海道
『community of』, aaploit, 東京
- 2024 『SPRING』, aaploit, 東京
- 2023 『道又蒼彩展』, anonymous art project, 東京
『own pace』, aaploit, 東京

グループ展（抜粋）

- 2025 『新収蔵作品展／コレクション＋女性アーティスト、それぞれの世界』, アーツ前橋, 群馬
- 2024 『The Joy of Being With』, Gallery COLORBEAT, ソウル, 韓国
『Emerging Echoes: Presenting Realism』, Gallery COLORBEAT, ソウル, 韓国
『第48回全国大学版画展』, 上田市立美術館, 長野

アートフェア

- 2025 INAS 2025 – Incheon Art Show, 仁川, 韓国 (aaploit)
アートフェア東京2025, 東京 (aaploit)

2024 AFAF – Art Fair Asia Fukuoka, 福岡 (aaploit)

ワークショップ

2025 版画ワークショップ, アーツ前橋, 群馬

2023 まわしてびっくり!? 回転版画に挑戦!, 斎藤清美術館, 福島

受賞

2023 第3回 anonymous collection 優秀賞

コレクション

アーツ前橋

メディア掲載 (抜粋)

2025 『アートコレクターズ』 No.191 2025年2月号: 対談 道又蒼彩×秋元雄史

2023 『現代思想』 2024年1月臨時増刊号 総特集=カフカ: 生田武志氏の論考内で作品紹介
『福祉のひろば』 2023年12月号, 2024年1月号: 生田武志氏のコラム内で作品紹介

aaploit

〒112-0014 東京都文京区関口1-21-17 TMKビル2F

info@aaploit.com



作品をもっと見る

<https://works.aaploit.com/ja/artists/michimata-aoi>

著作権・利用条件

© 2026 道又 蒼彩 and aaploit

本資料に含まれるすべての作品、画像、テキストは著作権で保護されており、アーティストおよびaaploitに帰属します。

ポートフォリオ・高解像度画像

出版、研究、キュレーション目的での包括的なポートフォリオおよび高解像度画像ファイルは、ご要望に応じてご提供いたします。お問い合わせは下記まで: info@aaploit.com

許可される利用:

- 批評、教育、ジャーナリズム目的での短い引用・抜粋。
- 適切なクレジット表記を伴う複製: "道又 蒼彩、courtesy of the artist and aaploit"

禁止される利用:

- 書面による許可のない商業目的での複製。
- 画像またはテキストの改変。
- アーティストの作品や意図を誤って伝える複製。

最終更新日: 2026年2月17日